

志木市上下水道事業包括業務委託

選定評価基準書

令和6年

志木市上下水道部

目次

1	審査方法.....	1
1.1	審査方式.....	1
1.2	受注者決定フロー.....	1
1.3	委員会の設置.....	2
2	審査内容.....	2
2.1	プロポーザル参加資格の確認.....	2
2.2	技術提案審査.....	2
2.3	優秀交渉権者及び受注者の決定.....	3
3	総合評価点の算出方法.....	3
3.1	配点方針.....	3
3.2	提案書の審査項目等.....	4
3.3	評価点の算出方法.....	5

1 審査方法

1.1 審査方式

本業務は、受注者の有する専門的な知識やノウハウ、技術力等を活用することが必要であることから、受注者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式を採用し、提案による非価格要素とともに、提示された参考見積価格の価格要素を総合的に評価する。

1.2 受注者決定フロー

受注者決定フローは図 1-1 に示すとおりである。

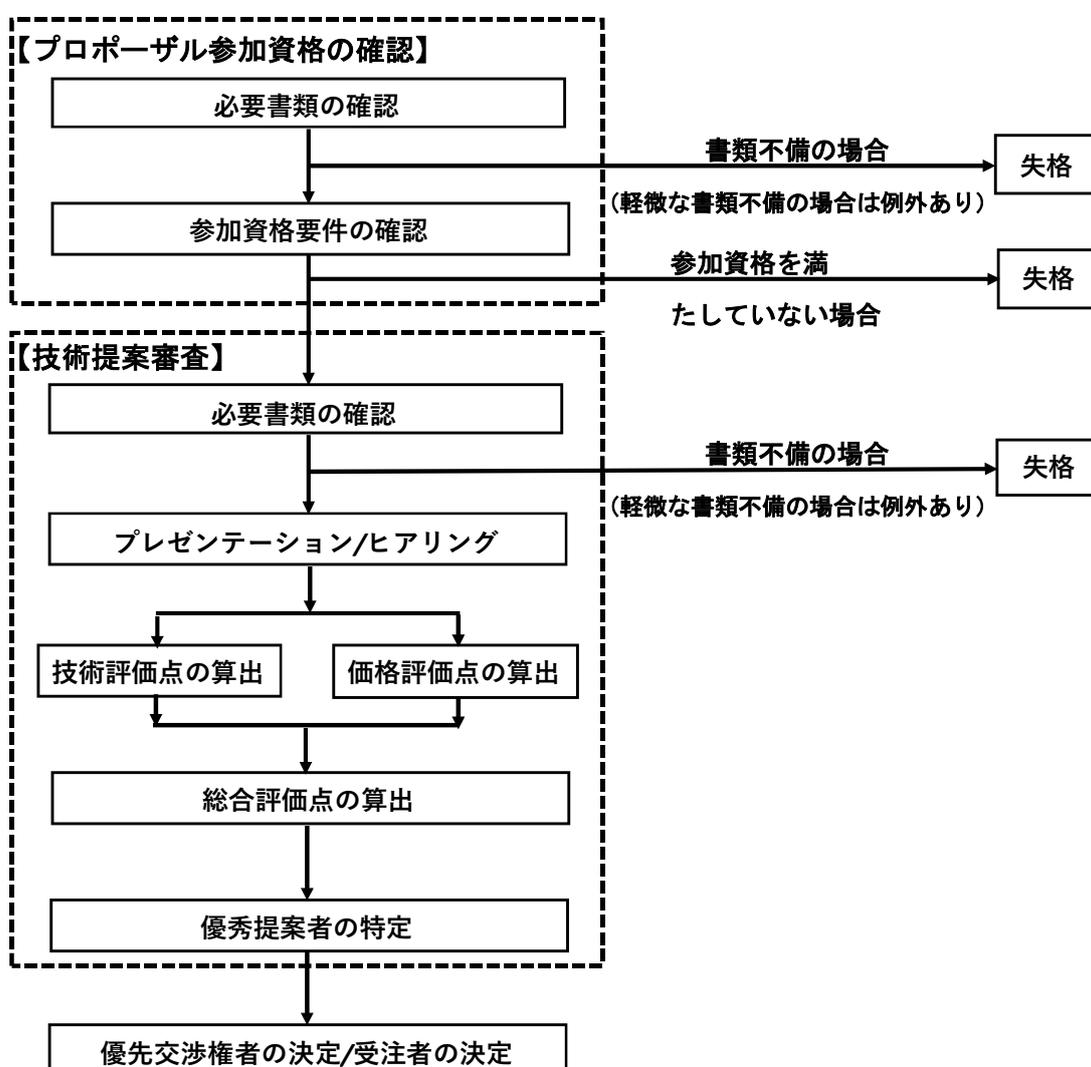


図 1-1 受注者決定フロー

1.3 委員会の設置

発注者は、提案書等の審査を実施するため、「志木市上下水道事業包括業務委託候補者選定委員会」（以下、「委員会」という。）を設置する。委員会は、本選定評価基準書に基づき提案書等の審査を行う。

2 審査内容

2.1 プロポーザル参加資格の確認

2.1.1 必要書類の確認

発注者は、参加者から提出された参加表明時の提出書類について、実施要領書にて求めた必要書類がすべて揃っていることを確認する。書類不備の場合は失格とする。ただし、発注者が軽微な書類不備等と認め、速やかに補填された場合は、この限りでない。

2.1.2 参加資格要件の確認

発注者は、参加者から提出された参加表明時の提出書類に基づき、参加者が実施要領書に定める参加資格要件を満たしていることを確認する。参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

2.2 技術提案審査

2.2.1 必要書類の確認

発注者は、参加者から提出された提案書について、実施要領書にて求めた必要書類がすべて揃っていることを確認する。発注者による提出書類の審査を行い、提出書類の内容不備が認められた場合は失格とする。ただし、発注者が軽微な書類不備等と認め、速やかに補填された場合は、この限りでない。

2.2.2 プレゼンテーション及びヒアリングの実施

委員会は、必要書類の確認ができた参加者を対象として、提案内容の確認等のために、参加者にプレゼンテーションを求め、ヒアリングを実施することを原則とする。提案内容審査ではヒアリング時の対応内容（発注者からの質問に対する参加者の回答を含む）も勘案する。

なお、実施予定日等については、実施要領書を参照すること。

2.2.3 提案内容審査

委員会は、提案書のうち技術的提案などの非価格要素の内容について審査し、「3 総合評価点の算出方法」に基づき得点化(技術評価点の算出)を行う。

なお、参加者が1者であった場合も、選定評価基準書に従い審査を行う。

2.2.4 総合評価点の算出

技術評価点及び価格評価点を合算し、総合評価点を算出する。

2.2.5 優秀提案者の特定

委員会は、総合評価点によって参加者の評価順位を決定するとともに、最も高い提案を優秀提案とし、当該提案を行った者を優秀提案者として特定する。

総合評価点の最も高い参加者が2者以上あるときは、参考見積価格が低い提案を行った者を優秀提案者として特定する。この場合において、参考見積価格が同額であるときは、委員会に諮って優秀提案者を特定する。

2.3 優先交渉権者及び受注者の決定

発注者は、優秀提案者の特定結果をもとに優先交渉権者を決定し、提案及び見積内容を総合的に確認し、それに基づく最終見積の提出を求める等の契約交渉を行い、受注者を決定する。

発注者は、優先交渉権者と契約締結に至らなかったときは、優先交渉権者を除く総合評価点の上位者から順に上記契約手続きを行う場合がある。

3 総合評価点の算出方法

3.1 配点方針

提案書で求める提案内容の評価について、非価格要素に関する技術評価点と価格要素に関する価格評価点の配点は、それぞれ80点及び20点を満点とし、技術評価点と価格評価点を加算して得られる合計点を総合評価点とする。

総合評価点＝技術評価点（80点満点）＋ 価格評価点（20点満点）

3.2 最低基準点

総合評価点が 60 点以上であることを最低基準点とし、最低基準点を満たさない提案者は、原則選定しない。

3.3 提案書の審査項目等

技術評価点及び価格評価点の算出に当たって、提案書の審査項目、内容及び配点は、表 3-1 のとおりとする。

表 3-1 提案書の審査項目、内容及び配点

区分	審査項目	内容	評価の着眼点(代表例)	配点	
業務実施能力	会社概要 (受注実績及び財務・経営状況を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 同種、類似業務の受注実績等 財務、経営状況及び経常的な業績の把握(財務諸表等から) 	<ul style="list-style-type: none"> 近年、本業務と同種、類似の業務で受注実績はあるか。 近年の決算資料等(主に貸借対照表や経営事項審査における財務健全性の観点)から、財務状況が健全であるか。 近年の決算資料等(主に損益計算書の経常利益等)から、安定した業績を上げているか。 	6	
	業務実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 本業務に関する理解度、認識度等 本業務における目的(目標)と提案内容の合致性 業務実施コンセプト(各業務の連携調整方針、運用方針、取組方針、ノウハウ・創意工夫等) 	<ul style="list-style-type: none"> 「志木市水道ビジョン、水道事業経営戦略及び下水道事業経営戦略」等の方向性等を踏まえて、本業務の理解及び認識が十分なされているか。 本業務の目的(目標)及びその効果と提案内容が合致しているか。 業務遂行の基本的な実施方針(業務実施コンセプト)(連携調整方針、取組方針、ノウハウ・創意工夫等)及び取組内容が明確に述べられているか。 	7	
	業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制と人員配置計画 有資格者、実務経験者等の配置(配置予定者の保有資格、実務経験等) 従業員等の教育訓練及び研修体制 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な組織体制と人員配置計画が業務毎に適切に確保され、業務の履行が担保されているか。 有資格者、実務経験者等が適切な体制(有資格者の人数等)で配置されているか。 不祥事防止や情報漏えい事故防止等のコンプライアンス教育はなされるか。各業務に応じたスキルアップ等の研修内容になっているか。 	7	
業務提案内容	業務実施計画	統括マネジメント業務	<ul style="list-style-type: none"> 業務の実務的かつ効率的・効果的な実施計画 課題解決に向けて経験やノウハウ等を活用した業務手法の提案 	<ul style="list-style-type: none"> 要求水準を確実に達成(履行)するために各業務を統括管理するマネジメントの考え方が的確に述べられているか。 統括マネジメント業務の課題を的確に捉え、有効かつ具体的な解決策が述べられているか。 創意工夫やノウハウ等を発揮する取組内容が提案されているか。 	6
		上下水道料金等に係る業務	<ul style="list-style-type: none"> 業務の実務的かつ効率的・効果的な実施計画 課題解決に向けて経験やノウハウ等を活用した業務手法の提案 	<ul style="list-style-type: none"> 要求水準を確実に達成(履行)するための考え方が的確に述べられているか。 上下水道料金等に係る業務の課題を的確に捉え、有効かつ具体的な解決策が述べられているか。 創意工夫やノウハウ等を発揮する取組内容が提案されているか。 	6
		水道窓口等に係る業務	<ul style="list-style-type: none"> 業務の実務的かつ効率的・効果的な実施計画 課題解決に向けて経験やノウハウ等を活用した業務手法の提案 	<ul style="list-style-type: none"> 要求水準を確実に達成(履行)するための考え方が的確に述べられているか。 水道窓口等に係る業務の課題を的確に捉え、有効かつ具体的な解決策が述べられているか。 創意工夫やノウハウ等を発揮する取組内容が提案されているか。 	6
		下水道窓口等に係る業務	<ul style="list-style-type: none"> 業務の実務的かつ効率的・効果的な実施計画 課題解決に向けて経験やノウハウ等を活用した業務手法の提案 	<ul style="list-style-type: none"> 要求水準を確実に達成(履行)するための考え方が的確に述べられているか。 下水道窓口等に係る業務の課題を的確に捉え、有効かつ具体的な解決策が述べられているか。 創意工夫やノウハウ等を発揮する取組内容が提案されているか。 	6
	危機管理・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 事故や災害等の想定される事象と緊急対応の基本的な考え方 インシデント対策、緊急連絡体制、組織的なバックアップ体制等 	<ul style="list-style-type: none"> 対応すべき事象と緊急時の初動対応等の考え方が的確に理解・認識されているか。 受注者(構成員等を含む)、協力企業等の包括組織的なバックアップ体制等が示されているか。 	8	
	地域社会への貢献等	<ul style="list-style-type: none"> 地元資源の活用や住民等とのコミュニケーション、地域貢献に資する取組事項 地域貢献・社会貢献への基本的考え方 	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業、人材の積極的かつ持続的な活用等に関する提案が述べられているか。 住民等へのサービス向上や社会貢献を実現するための提案が述べられているか。 	8	
	DXの活用	<ul style="list-style-type: none"> DXの推進によるサービス向上及び事務効率化に関する提案 	<ul style="list-style-type: none"> DXの効果的な活用方法が提案されているか。 実現性のある提案内容となっているか。 	8	
	品質向上	<ul style="list-style-type: none"> 事務処理ミスの防止やサービス向上を図るための留意事項 品質向上を表現するための取組事項 	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルに基づき業務遂行プロセスが改善される仕組みが提案されているか。 各業務マニュアルの作成等、受注者が主体的に品質向上に取組むための方法が述べられているか。 	6	
	個人情報保護	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護に関する留意事項及び取組方針 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護に対する理解及び認識が十分なされているか。 取組方針が具体的かつ的確に述べられているか。 	6	
	価格提案内容		参考見積金額	(「提案評価基準」記載の方法により得点を算出)	20
合計				100	